

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|----------------------------|---|---|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 18 23 26 27 41 | コロナ禍で制限されることが多い中でも、利用者を介護される人ではなく、地域の中で生活し、共に暮らす人として、自立支援をするという視点が不十分である。 | 利用者が『快』『やりがい』『生きがい』が感じられるように、ICFの活動と参加を盛り込んだケアプランを作成する。 | ①本人や家族の思い、これまでの暮らしや楽しみ、不安等アセスメントし、職員間で共有出来るツールを使用する。 ②ケアプランにコミュニケーションをとる内容を具体的に入れ、本人の言った言葉や表情を記録する。 ③評価は記録から効果がわかるように記載し、本人の意見もきいて記載する(ケアマネは次のケアプラン作成のために確認する)。 | 1年間 |
| 2 | 6 7 13 40 | 馴れ馴れしい言葉使いになったり、利用者への態度が威圧的になる場面が見られる。またプライバシーの配慮が欠ける場面もみられる。 | 職員間で不適切ケアに気づき、検討できるようになる。プライバシーの配慮が出来るようになる。 | ①職員の申し送り後に、ひなたぼっこ虐待防止行動指針の文章の読み合わせをする。 ②カンファレンスでコンプライアンスルールの読み合わせをする。 ③不適切ケア防止トレーニングシートを活用し勉強会を行う。 ④言葉使いマニュアルの見直しを行う。 | 1年間 |
| 3 | 19 20 55 | 新型コロナ感染予防での面会制限で、家族とのつながりを感じる事が少なくなりました。 | 家族とのつながりを大切にするため、感染予防をしながら本人と家族のつながりを感じられるようになる。 | ①状況に応じて面会制限を緩め、家族に会える機会をつくる。オンライン面会も活用する。対面での面会は10分の制限があることを伝える。 ②家族が訪問した時に笑顔で迎え、本人の最近の様子をその日に出ている職員が説明しコミュニケーションを取る。その時の本人の様子や家族の様子も記録する。 ③本人のストーリー性を持った情報でアルバムを作成し家族や本人に見てもらう。 ④感染対策を行い、家族に説明していく。 | 1年間 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。